

＜理念＞

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

＜基本方針＞

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。
4. 私たちは、情報技術を最大限に駆使して「未来から選ばれる病院」を目指します。
5. 私たちは、病院内に痛みや苦しみがなくなるように全力を尽くします。

板橋中央総合病院公式 SNS



「Ita Tube」



板橋中央総合病院
Instagram



IMS ITACHU OFFICIAL



産婦人科
Instagram



ITACHU_SANFUJINKA

病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ



GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間（予約含む）・
対象者さま基本情報等の連絡
【入院（所・居）・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック 検索



gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくと便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



FREE 0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間：平日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30（日祝・年末年始休み）

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

医療・介護に役立つ情報を動画で発信！



〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩1分

03-3967-1181（代表）

<https://ims-itabashi.jp/> ▶



PLAZA IMS

新年号 Vol.82

板橋中央総合病院

「フラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



新年のご挨拶

最先端の治療法

「切らずに治す」放射線治療

Itachu News

CONTENTS

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、こうして皆さまをお迎えできることを、職員一同、心よりありがたく思っております。病院を訪れるということは、体の不調だけでなく、先の見えない不安や迷いを抱えておられることも少なくありません。そのような中で、当院を信頼し、足を運んでくださっていることに、深く感謝申し上げます。

さて、医療界を取り巻く環境は依然として厳しく、物価高騰、人材確保の難しさ、制度改革など、私たちの前には多くの課題が立ちまわっています。ただ、その一方で、直向きに努力を続ける医療機関を、正当に評価しようとする動きも確実に広がりつつあります。昨年末に発表された、政府による補正予算では、救急診療に真摯に取り組む病院への支援が示されました。これまで当院が重ねてきた挑戦が認められ、地域医療を担う存在として大きな期待が寄せられていると、私たちは受け止めています。

どのように時代が変化しても、私たちの使命は一つ、「安全で最適な医療を提供し、『愛し愛される病院』として社会に貢献する」ことです。今年の干支は「丙午（ひのえうま）」、情熱と行動力を象徴する、「炎をまとった馬」の年だと言われています。私たちは、職員一人ひとりが情熱を胸に、「100万馬力の板中魂」を力に変え、一つのチームとして前進して参ります。

また、当院は今年で創立70周年という大きな節目を迎えます。これまで長きにわたり、地域の皆さまと共に歩んでこられたことに、改めて熱く御礼申し上げます。これからも地域に根差し、信頼され、いざという時に頼っていただけるような病院であり続けられるよう、歩みを止めることなく努力を重ねて参ります。

本年が、皆さまにとって健やかで穏やかな一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

どうぞ本年も、板橋中央総合病院をよろしくお願い申し上げます。



板橋中央総合病院

院長 加藤 良太郎

「切らずに治す」放射線治療

放射線治療は外科治療や薬物療法と共にがん治療の柱の一つです。近年の技術の進歩により精密な治療を行うことが可能となり、より安全に治療を行うことができるようになってきています。今回は当院の放射線治療器のご紹介と放射線治療の概要についてご紹介したいと思います。

1 当院の放射線治療器

当院には通常のリニアックと定位放射線治療専用機であるサイバーナイフがあり、どちらの装置を使用するかは病状に応じて決定しています。



リニアックとは、がん細胞を死滅させるため、体外から放射線を照射する外部放射線治療を行う装置で、がんの治療に必要な高エネルギーのX線や電子線を発生させます。
当院のリニアックでは放射線ビームの強度や形状、照射の方向を変えられ、比較的広範囲な病変部位に使用できます。



サイバーナイフは、細い放射線ビームをたくさん精密に集中させ、がん細胞に対してピンポイントで照射する定位放射線治療に特化した治療機器です。ロボットアームの先端に取り付けられた小型のリニアックで、様々な方向から照射を行います。ビームと目標点（がん細胞）との誤差は1mm以下の精度を持ち、非侵襲的に高度な治療ができます。また治療中は、天井に取り付けられた診断用X線装置で継続的にレントゲン撮影を行い、治療計画時の状態と3次元的に比較し補正しながら治療を行います。1回の治療時間は30分から1時間程度で、治療回数は数回程度のことが多いです。

2 放射線治療って何？

《放射線治療とは》

放射線治療は、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりするために放射線を体の外や中から当てる治療法です。
当院で行っている放射線治療は体の外から放射線を当てる外部照射です。
外科治療や薬物療法と並ぶ、主要ながん治療の一つです。
治療台の上に仰向けに寝ていただき、動かずにいていただければ安全に治療ができます。

《放射線治療の目的》

放射線治療は次のような目的で行います。

- 根治（がんを治す）
- 再発の予防
- 症状の緩和（痛みや出血を抑える など）

がんの種類や病状にあわせて様々な目的で放射線治療を行うことがあります。

《どんな病気に放射線治療を行うの？》

主にはがんの治療に使います。

- 頭頸部がん
- 肺がん
- 乳がん
- 前立腺がん
- 子宮頸がん
- 脳腫瘍
- 消化器のがん
- 血液のがん（リンパ腫 など）
- がん以外の治療に使われることもあります。
 - 良性腫瘍（髄膜種・脳下垂体腺腫など）
 - ケロイド（体質による傷跡の盛り上がり）
 - など

よくある質問（FAQ）

Q1 放射線をあてるときに痛みはありますか？

A ありません。
照射中に放射線によって体に痛みを感じることはありません。

Q3 入院が必要ですか？

A 多くの方は外来で通院しながら治療を受けています。
ただし、治療内容や体調によっては入院が必要な場合もあります。

Q5 食事制限はありますか？

A 基本的には大きな制限はありません。
ただし、治療部位や病状により一部制限がある場合もあります。

Q2 放射線治療（外部照射）を受けると体から放射線が出ますか？

A 出ません。
外部照射の場合、治療が終われば体の中に放射線は残らないので、家族や周囲の人に影響はありません。

Q4 仕事や家事は続けられますか？

A 多くの方は通常通り続けています。
ただし、副作用の状況とあわせて無理のない範囲で調整してください。

治療について不安なことがあれば、いつでもご相談ください。安心して治療を受けていただけるようにサポートしてまいります。

放射線治療科 診療部長
医師 大浦 祐子

当院では乳がんや前立腺がん、肺がんに放射線治療を行うことが多いです。症状緩和のための放射線治療も積極的に行っています。そして、各診療科の先生と連携して治療方針を決定します。

- 乳がん -

手術後の再発予防としてよく行われます。

- 肺がん -

根治治療や手術後の再発時、手術後の再発予防としても用いることがあります。

- 前立腺がん -

根治治療や手術後の再発時の治療として用いることがあります。

- 緩和照射 -

骨の腫瘍による痛み・脳腫瘍による症状を和らげたり、腫瘍からの出血を抑えるなど、様々な目的で行うことがあります。

ご自身の病気が放射線治療の適応になるか気になる方は主治医の先生に一度ご相談ください。

放射線治療科 初診外来担当医表 ※完全予約制

再診の方は随時ご予約を受け付けております。

	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 11:00	○	○	○	○	○	
14:00 ～ 15:00	○	○	○	○	○	

お問い合わせ

G 館 地下 2 階 放射線治療センター TEL.03-3967-1181（代表）



板橋中央総合病院 HP
放射線治療科

当院にご受診される場合には、あらかじめホームページをご確認のうえご来院ください。



院内展覧会

手と手をつなぐアート～地域と病院が織りなすところの風景～

2025年12月15日(月)～24日(水)の期間中、「手と手をつなぐアート～地域と病院が織りなすところの風景～」と題して、院内展覧会を行いました！

総勢12人の作家さんにご協力いただき、E館-F館通路と、セントラルクリニックの小児科、1階-2階の階段に展示いたしました。そして、展示した作品の抽選購入も受け付けていました。作品のテーマがメルヘン画ということもあり、とても華やかな空間になりました。

また、12月22(月)～24日(水)の3日間は、作家さんが直接ポストカード等の小物販売も行いました！院内展覧会を楽しんでいただけました。

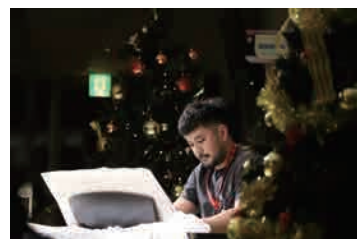


第67回キャンドルサービス開催

2025年12月12日(金)に院内にてキャンドルサービスを行いました！

第一部のセレモニーは、看護部が加藤院長から火を受け取り、ナイチンゲール聖書を斉唱いたしました。全てのキャンドルに灯がともり、会場全体がとても温かい雰囲気になれ、各部署の代表者による火の誓いと加藤院長からのお話がありました。

第二部ではミニコンサートを行いました。はじめに板橋中央看護専門学校itakan ウィンド・オーケストラが、クリスマスメドレーと題してクリスマスソングを含めた4曲と、アンコールで「Happiness」を演奏。明るく前向きな音楽に元気をもらいました。次に、救急総合診療科の松元先生によるピアノ演奏では、「Amazing Grace」などのしっとりとした3曲を披露いたしました。ピアノの音だけが響く会場は、とても神秘的に感じました。



総合防災訓練を実施いたしました

2025年12月6日(土)に院内総合防災訓練を実施いたしました！

大規模災害発生時に、各部署がどのような動きをするか明確化し、全体を通しての課題を抽出することを目的としています。訓練終了後、消防士の方からご意見をいただいたことで、新たな課題も見つかりました。各部署から出た改善点も含めて、今後に活かしてまいります。



2025年12月1日(月)放送 当院が日本テレビ「news zero」にて放送されました

番組では、日本の病院の約7割が赤字経営に陥っている現状を取り上げ、その中で病院が抱える課題や、赤字経営が医療現場に与える影響、今後の医療のあり方について加藤院長がお答えいたしました。

また、番組内では、板橋中央総合病院の手術室や中央材料室、小児科病棟、救急外来など、実際の医療現場の様子も紹介されました。

面会のご案内

2025年12月8日(月)

より面会のルールが
変わりました。

面会時間、

面会人数、

面会可能な方

の項目が

変更となりました。

面会のご案内

運用開始日：2025年12月8日

受付で手続きを行い「面会証」を着用のうえ、ご面会ください

●面会可能時間帯：13:00～17:30(土日祝日も可)

●面会時間：60分以内

●面会人数：1回につき2名まで

●面会可能な方：

中学生以上および面会時の注意事項が守れる方

発熱や体調不良(鼻水・咳・喉の痛み)のない方

●受付：E館1階(下図参照)

●面会場所：病棟スタッフの案内に従ってください

面会時の注意事項

・病院内は必ずマスクを着用すること

・面会前後は手指消毒を行うこと

・病棟・病室内で飲食は行わないこと

※産科病棟(E館3階)、小児科病棟(E館4階)は、
面会方法が異なりますので、当該病棟へ
お問い合わせください。
※感染状況により、面会基準を変更する場合があります。
ご理解、ご協力をお願いします。



脊椎しびれ外来のご案内

2025年10月より
脳神経外科で
脊椎しびれ外来を
開始いたしました。



E館4階病棟クリスマス会

2025年12月22日(月)にE館4階病棟にて

クリスマス会を開催いたしました！

事前に配布されたコインでガチャガチャを回してプレゼントをゲット！

そして、12月24日(水)には、ビュッフェの行事食を提供いたしました！

